

# 帯広畜産大学同窓会報

第25号 平成30年11月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

帯広畜産大学同窓会会長  
砂川敏文  
(昭和45年草地)



会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より畜産大学と同窓会の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

一昨年の連続台風による北海道の水害や今夏の西日本の水害など、異常な降雨による災害が頻発しています。いわゆる異常気象が異常とは言えない頻度で発生している。世界的に気候が変化しているのではないかと。

それに対し、河川の整備や土砂災害対策など国土基盤整備の遅れが指摘されています。従来の基準による整備さえも未だ達成されていないところがあるにもかかわらず、その基準そのものや運用の適否が議論されています。

いずれにしても、インフラ整備の考え方、やり方は変わらざるを得ません。

整備基準が上がれば、要するお金も時間もこれまでより多くかかります。

膨大な費用と時間をかけてすべての災害を抑え込むことを目指すのが妥当かどうか。

それよりも、事が起こったときに、住民が確実に避難することで被害を極小化する。そのための方策を考え、ソフトウェアを充実させる方がよいのでは。等々多面的な検討が期待されます。

大学の経営をめぐる環境も、大きな変化の潮流の只中にあることについては異論のないところです。この度の3大学の法人統合構想の表面化もこうした変化への対応策の一環と理解できます。

同窓会の運営も変化の波に直面しています。今後女性の会員の割合が大きくなっていくことや法人の統合に関してどのように対応していくかなど、検討が欠かせません。

昨年からはまったホームカミングデーですが、今年は10月6日に開催され、成功裏に終わりました。皆様のご意見やご要望をできるだけ取り入れながら、大学

そして同窓会とOBの皆様との絆を一層強くする取り組みとして定着を図っていきたくと考えています。機会を見てぜひホームカミングデーにお誘いあわせの上、大学キャンパスへお越しください。

昨今の情勢から畜大基金の充実について、同窓会としてもOBの皆様にご協力をお願いしてきたところです。おかげさまで、最近は格段のご支援をいただいていると、大学当局から伺っています。同窓会として今後とも努力して行きたいと考えていますのでよろしくお祈りします。

会員の皆様のご健康と一層のご活躍をお祈りしますとともに、同窓会に対してさらなるご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。以上

## 大学の近況： 三大学の経営統合

帯広畜産大学長  
奥田 潔  
(昭和52年獣医)



本年、5月29日に、本学は小樽商科大学、北見工業大学と平成34年に経営統合すると発表しました。同窓生の皆様におかれましては、報道を目にし、驚かれた方もおられるかと思えます。もちろん帯広畜産大学が無くなるわけではありません。

これまで本学を含む国立大学は、平成16年4月に法人化され、「理事及び監事を置くこと」や「役員会制の導入」、「外部委員を加えた経営協議会の設置」、「6年毎の中期目標・計画を策定」、「第三者による大学評価の導入」など、法人化前とは異なる自立的な運営を意識した組織作りがなされてきました。第三期中期目標期間には、「地域貢献型大学」として位置づける本学は、これまで以上に企業や地方自治体、試験研究機関等との共同研究や受託研究を推し進めるとともに、地域のニーズに応える人材育成を意識しています。本学の位置する十勝・帯広だけでなく、北海道全体の産業・経済の発展に貢献するために、専門の異なる帯広畜産大学・小樽商科大学・北見工業大学が、それぞれのもつ特長をこれまで以上に発展させつつ、経営統合することによって、農商工を融合した新たな展開を期待しています。これは、1法人複数大学（アンブレラ

方式)と呼ばれる制度で、経営母体の下に6つの大学があるカリフォルニア大学を例として見ていただければ分かり易いかと思います。三大学は文理融合、農工連携による共同研究を充実し強化するだけでなく、特色ある教養教育およびリカレント教育など、社会の要請を踏まえた教育の充実に努め、ますます多様化する社会のニーズに応える人材を輩出していきたいと考えています。北海道経済・産業の課題を解決し、北海道の発展および国際社会の繁栄に一層貢献することこそが経営統合に期待する成果であり、経費削減・業務効率化が真の目的ではないことを強調しておきたいと思っています。

本学は、「食を支え、暮らしを守る人材の育成」をミッションとし、農畜産業の国際化にも対応できる人材育成に努めています。企業や研究機関そして地域から、実学を学んだ指導的人材が求められています。より社会のニーズに応える人材育成のため、全国で活躍する同窓生の皆様のご協力、ご支援をいただければ幸いです。

今年度も多くの同窓会にご招待いただいております。可能な限り足を運び大学の近況をお伝えしたいと考えております。幹事や役員の皆様にはご苦勞をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 畜大事務局長就任のご挨拶と同窓会会員へのお願い

帯広畜産大学副学長・事務局長  
山 岸 仁



十勝の何処を車で走っても、延々と続く平坦な畑作地と牧草地、遙か彼方まで整然と立ち並ぶカラマツの防風林。かつて、依田勉三らがこの十勝の地に足を踏み入れた時代には、内陸に通じる道は無く、カシワ林の樹海が一面に広がっていたはずで、それを鋸で一本一本伐採、伐根し、気の遠くなるような開墾作業が繰り返されて、今のこの肥沃な大地があることを考えると、先人達の偉業に頭の下がる思いです。

そんな敬意を抱きながら、眼前に広がる十勝の風景に圧倒されて、平成30年4月、北海道大学財務部長から副学長・事務局長として就任いたしました。

同窓会会員の皆様には、日頃から、帯広畜産大学の教育研究活動の発展にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、帯広畜産大学は、国内唯一の農畜産学、獣医学の融合体制による教育研究を行う単科大学として、その分野の強み・特色を一層活かして、地域・国・世界に貢献する様々な取り組みを推進しています。また、日本の食料基地である北海道十勝の発展と供に、この

地域に在るべくして立地する大学として、実学重視の学風の下で「食を支え、暮らしを守る」人材を育成し、地域及び国際社会の現場で活躍できる卒業生を輩出しています。

この場をお借りして、同窓会会員の皆様にお申し上げます。地域及び国際社会の将来を担う人材の育成と言う本学の社会的使命を維持していくため、教育研究環境を整備し、学生の修学を支援するための大学基金の役割は、国の財政状況が厳しくなっていく中で、今後、益々重要になると考えます。恒常的にご寄附頂ける賛助会員に加入している本学の卒業生は、約1万6千人余の卒業生の僅か1%に当たる160名と言う残念な状況です。獣医、農畜産の現場でご活躍されている成果報酬の一端を大学に還元して頂くことが、地域、国際社会への貢献の証と考えて頂ければ幸いです。

## 支 部 だ よ り

### 北海道釧路支部同窓会

釧路支部長  
日野浦 正 志



釧路支部の総会は隔年開催となっており、昨年7月22日支部総会を釧路市で開催、私が支部長に就任することになりました。ただ、私は支部役員でありながら特に積極的な活動も行ってきていなかったことから困惑しながら現在に至っております。

さて今年は釧路支部総会の開催年ではなく支部活動に大きな動きは無いことから釧路地域の状況について若干報告いたします。基幹産業の酪農は、一番草収穫時期の長雨などの天候悪化により良質な粗飼料の確保が叶わず、栄養価の低いサイレージの収穫となったのではと越冬時期の生乳生産に悪影響があるのではと思いますし、又、この度の全道一円に大きな影響を与えた胆振東部地震の停電による牛乳集出荷不能或いは乳房炎の多発という異常事態も発生するなど厳しい状況にもありますが、これから適切な飼料管理に努力され今後乗り切って欲しいと願っております。

一つ残念な報告があります。昨年まで支部長を務めていた伊織正一様(様)が4月30日にご逝去されました。温厚で誠実なお人柄で多くの会員に慕われていた方であり誠に残念でなりません。

同窓十勝会 池北線支部  
(ふるさと銀河線)  
総会について

支部長  
樋口 脩  
(昭和41年獣医学科)



9月6日午前3時8分強烈な地震で目が覚めました。震源地は厚真町を中心に大変な被害をもたらしました。北海道はじめての295万戸にも及ぶ大停電が全道を襲いました(ブラックアウトだそうです)。被害等についてはメディアなどで御承知だとは思いますが、現時点でも(9月11日現在)でも、断水・停電・道路交通機関(鉄道、バス等)のところが見受けられます。被害を受けた方がたに、心よりお悔やみと、お見舞いを申し上げます。

さて、池北線同窓会支部状況としては必ず毎年1回、総会と称し意見交換を行っております。

会員構成としては足寄45名・本別55名・陸別6名計106名となっており、開催地は順次各町で行い、今年は足寄町の両国で砂川会長にご参加をいただき、ご挨拶のなかで、帯広畜産大学の変遷・帯広畜産大学基金・取り組み等を詳しく説明され、その後総会及び懇親会を盛大に行い最後に逍遥歌を全員肩を組み歌い来年も、と誓い合いました。



帯広畜産大学  
福島県同窓会

福島県支部事務局  
紺野 廣重  
(昭和52年獣医)



福島県の平成30年同窓会は、前回の開催から1年をおいて今年の9月29日に福島市で開催しました。当日は、間もなく大型台風24号が福島に迫っている気候でしたが、大学から奥田学長においでいただき、同窓会事務局からは辻副会長に来ていただきました。

学長には、先ほど発生した北海道胆振東部地震における大学の対応とリスク管理や、厳しい状況にある大学経営の中にあっても優秀な人材を輩出し続け畜産・食料生産に広く貢献すべく小樽商科大学・北見工業大学との三大学連携構想を進めていること、過日ブラジル同窓会に出席したところ、90数歳の先輩を含め意気軒昂に活躍されている同窓生の話題等々のお話をさせていただきました。

今回の福島県同窓会には、昭和32年から平成6年卒業までの例年よりは若干少ない人数ではありましたが、卒業以来初めての方の出席もあり15名での会となりました。平成30年卒のピカピカの卒業生の出席も予定していたのですが、残念ながら当日都合が悪く、来年以降の同窓会デビューを待つことになりました。また、今回も一昨年に引き続き同窓生の農家に営農復活の支援に来ていた東京支部の方も飛び入りもあって、バラエティに富んだ集まりとなりました。懇談は懐かしい学生時代のことや近況など予定の時間を大幅に超過するほどで、最後に畜大の国歌である逍遥歌を全員で肩を組み熱く熱く歌いあげて、次回の再開を誓ってお開きとなりました。

ご存知のとおり、福島県は、平成23年3月の東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所の事故により大きな被害を受け、今でも避難している方や風評被害も残っています。同窓生の中にも、避難を余儀なくされた方がいらっしゃいます。しかし、観光客が震災前の人数近くまで増えてきたり、農水産物の出荷が日々拡大しているなど、時間はかかっていますが通常の日々が戻りつつあります。



## 関東同窓会の近況

関東支部長

澤田 拓 士  
(昭和45年獣医)



今年も大雪、地震、豪雨そして台風による災害が各地で続き、9月6日には北海道で大きな地震が起きました。被災された同窓並びに関係の方々には心からお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を祈念致します。

平成30年度関東同窓会総会は6月9日(土)午後5時半から銀座ライオン7丁目店において会員76名が出席し、大学から奥田潔学長(52V)並びに野並雅章基金・広報戦略室長、同窓会本部から砂川敏文会長(45G)並びに岸本正事務局長(55T)の来賓4名のご臨席を賜り盛大に開催されました。

総会は細川幹事長(48V)の司会で初めに物故者への黙祷の後、会長の挨拶、その中で小西喜洋さん(44T)が陸上自衛隊幹部学校主任教官としての貢献によりこの春の叙勲で瑞宝小綬章を受章された吉報を伝えました。続いて太田副会長(40V)の議事進行で各議案が原案通り承認されました。特に、会員等の個人情報の取り扱いについて適切な管理を行うための「個人情報保護方針」が承認されました。

総会后「南極観測60周年を迎えて—南極トピックスあれこれ—」と題して神田啓史国立極地研究所名誉教授(44D)の講演があり、南極での観測、地球環境を考えるなど大変貴重で興味深い話をして頂きました。タロとジロは勿論、懐かしい動物学の芳賀先生の写真や内科学の一条先生の話もありました。

引き続いての懇親会では、まず奥田学長から配布頂いた「帯広畜産大学の取り組み」や新聞各紙掲載の情報を含めて大学の現況を報告して頂きました。中でも“道内3国立大学経営統合”はビッグニュースでした。続いて砂川同窓会会長からは今年も開催される「ちくだいホームカミングデー」へのお誘いを頂いた後、乾杯のご発声で宴開始となりました。

宴は久し振りの再会に旧交を温め、また新たな親交が育まれる中、恒例のプロのコーラスグループによる歌が響き渡り、各テーブルを超えての懇親も大いに盛り上がりました。あっという間にお開きとなり、逍遙歌を唄う時間が無くなってしまいました。

次回は2019年6月8日(土)銀座ライオン7丁目店で開催の予定です。特別講演としてNPO法人カビ相談センターの高鳥浩介理事長(45V)にカビの話をして頂くことになっています。

大変喜ばしいことに、今年も昨年と同様に加入者・出席者が増え、特に、平成卒及び女性の出席者が増え

ました(平成卒14名、女性7名)。これからも地道に同窓会への参加を呼び掛けて行きたいと考えています。

## 新潟県支部の近況

新潟県支部長

佐藤 将 典  
(昭和46年獣医)

新潟県支部は、平成10年の設立からちょうど20年を迎えました。本年8月26日(日)にアートホテル新潟駅前において新潟県支部の総会・懇親会を2年ぶりに開催しました。当日は、事務局で把握している県内在住の卒業生64名のうち、18名の出席を得られました。

総会では、遠山潤(昭61獣医)幹事長から事務的な連絡事項のほか、事前に大学から送っていただいた様々な資料に目を通し、現在のキャンパスの様子や研究、大学院の再編、北見工大、小樽商大との経営統合など、現在の畜大の一端を知る良い機会となりました。

懇親会では、出席者からの近況報告があり、それぞれ卒業後に関わってきた仕事や現在の楽しみ、帯広、十勝での思い出などを語り合いました。今回初めて参加いただいた会員からは、卒業してから初めて寮の話をした、畜大で過ごした時期は違っても、共通の話題はたくさんあって楽しかった、などの声が聞かれました。

宴たけなわとなった懇親会の最後には、恒例となった本県出身の名畑武男大先輩(昭22獣専)が作詞された「帯広畜産大学逍遙歌」を全員で声高らかに歌い、次回の再会を期して終了となりました。



## 三重県支部近況報告

三重県支部長

白井茂雄

(昭和45年獣医)



まず初めに、9月6日早朝に起きた「北海道胆振東部地震」のお見舞いを申し上げます。帯広は震度4で地震の被害は軽度でも、停電が長引いて復旧したのは翌日の夕方だったようで、母校にもある程度の被害があったとお察しします。

今回の地震で昭和43年の「十勝沖地震」を思い出しました。当時私は獣医学科3回生で山下忠幸先生の解剖実習中に地震が発生し、全員が外に避難したのを覚えています。

さて、直近の三重県同窓生リストによると、人数は62名(在学中4名を含む)で、職域は公務員(県、市)、学校教員(大学、高校)、民間会社、動物病院、自営業とさまざま。私が三重県で開業した昭和50年頃は同窓生が僅か10数人で、一番若い私が名簿の末席でしたが、今では人数が約5倍となり、私は7番目に古くなりました。

私の職種(獣医学科卒)では、今年6月の三重県獣医師会総会で、同窓会三重県支部副支部長の永田克行氏(S55年卒)が三重県獣医師会会長に就任。私は関口弘之氏(S39年卒)の後任として2年前から津地区獣医師会会長(事務局兼務)を務めています。他にも同窓生が各々の職域で活躍されていると確信していますが、なにぶん情報に乏しく詳細は不明です。

同窓会支部長と副支部長がともに役職や事務局を担っている関係で、平成28年を最後に同窓会を開催できずにいることを大変申し訳なく思います。来年こそは、私と永田氏を中心となって久しぶりに同窓会を開催したいと思っています。

以上、北海道地震のお見舞いとともに、三重県支部の近況を報告します。

風21号にぶっ飛ばされ、。なんと屋根修理は一年待ちだそうです。家内(S62環境)の実家も痛手を受けましたが、工務店を経営されている同窓会大阪支部中川会長(S41酪農)さんをお願いし早めにやっていただければと一安心。



## 大阪支部近況報告



大阪支部事務局

藤崎泰造

(平成元年畜産環境)

北海道ほどの大災害にはありませんでしたが、大阪も災害の多い年でした。夏の地震の片付けも済まないうちに台

6月17日は恒例の超豪華BBQが30名弱の同窓生を集めて開催されました。大阪在住者だけでなく北海道から黒川二郎さん(S45酪農)、兵庫県でノンホモ牛乳を提供している拓ちゃん牧場の吉田拓洋さん(H12管理)、京都から教員をされている北村元秀さん(S56経営)、奈良県から動物病院を営む橋本祥男さん(H6獣6)、滋賀県から造園業を営む北島輝彦さん(H2環境)、と交流の輪は広がってゆきます。

それにしても豪華なBBQでした。ノールグランボワラ(北海道物産店 尼崎市 中川会長経営)から、ホッケにイカに…そして牛トロハンバーグ(十勝スロウフード 藤田社長 S63環境)や茶路綿羊牧場(武藤社長 S57酪農)の生ラムに…エゾシカブロック、大き

な牡蛎, etc. 渡辺俊夫さん (S60酪農) がダッチオーブンでじっくり焼き上げたエオゾシカの美味かったこと!

台風21号により、服部緑地でも多くの被害があり、例年木陰を活用させてもらっている大木の枝も折れていたと柴田響子さん (H18畜科) から報告いただきました。柴田さんは釣り部出身としてBBQでは早朝場所取り係としてその素質を活かしています。

同窓会大阪支部BBQは、気合が入っています! そしてあらゆる同窓生の参加をお待ちしています。

(次回開催予定)

2019年6月8日(土)午前11時から

大阪府豊中市 服部緑地公園

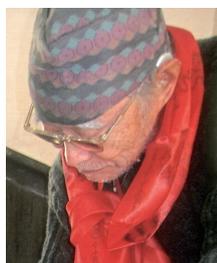
お問合せ: taizou.fujisaki@outlook.jp

ご家族での参加も受け付けています。

## 岡山県支部近況報告

岡山県支部長

進 藤 省一郎



名ばかりの支部長で申し訳ありません。全国で一番いい加減な支部長であります。若い方にお渡し致したく考えております。何事も全て幹事、事務局におまかせして座って酒飲むだけでありました。気持は良かったです。2月極寒のネパール、ヒマラヤ7回目目失敗をしました。何事も成功する自分だと傲慢な思い込みがありました。体力の低下を認めるのがいやで過信したのが悪かった。高山病と低体温症が同時にきた。帰国後3ヶ月間寝まくり、身体は元に近かざいたが、気力はガタ落で、いい加減さに磨がかかった。私は東京にあるネパール子供絵画プロジェクトの一員で最高齢者である。ヒマラヤに魅せられ惚れたのは、碧雲寮8人室で窓は破れ新聞を張って過した助け合った生活を思い出しダブルのである。電気もガスも水道も無い所で元気に生きている子供達の手助を少し、したかったのである。今は電気突然の停電はあるが入り、プロパンガスも入りだし、水は氷河の溶けた水を蓄め水道的な使用方も始まった。近代文化の波に押され、子供達も少しずつ変化して来ている。でも皆なで助け合うヒマラヤ文化は生き続けている。「サンガイ、ジナコ、ラギ」皆なで生る為。心が打れる言葉である。一昨年ヒマラヤで大地震があった。義援金を届けると、家が斜になっているのに、私は耐れるから、もっと困っている人に渡して上げてと言う人が居る。今でもこういう部落社会がある。教えられる事が多くある。

来年は岡山県同窓会を必ず開きたいと思っている。岡山県同窓会は奥田潔学長を送り出した喜びがある。

何としても元気のある岡山県でありたい。本年は雨にもやられた水にもやられた、でも生かされている喜びがある。畜大で学んだ事を全て出し切って行きたい。死んだふりはまだ出来ない。

## 継続は金なり! 創立50年の節目を迎えて

九州・沖縄支部会長

深 田 泰 三



豪雨、台風、地震と災害続発の中、被災地の皆様の心情は、いかばかりかと、衷心からお見舞い申し上げます。

私は、脊椎には金具、心臓はペースメーカーながら、齢87を迎えましたが、まだまだ“アルコール”は、現役のまま、日々穏やかに、過ごしております。

さて、当支部は、昭和43年10月に11名で産声をあげ“畜大とアルコールを愛して止まない”会員諸氏の協力のもと、本年、168名の会員を要し、50年目の節目を迎えることとなりました。暗黙の了解として、毎年1回11月最終土曜日に総会、会長と事務局長は2名(高山君はS59逝去)、開催地は、各県持ち回りとすること、がありました。その足跡は、別紙に記載したとおりです。思い起こせば、数々の逸話とエピソードの連続でした。先輩から後輩へと話題が連なる、碧雲寮生活を軸とした“青春”の思い出が、夜を徹して語り明かす様子は、まさしくザ・畜大。もちろん、畜産業界の嘆き、衛生行政への不満、乳業会社と自治労の話など、真剣な議論もありました。また、恩師との交流も、頻繁に行われました。宮崎、鹿児島県の獣医学会へみんなで馳せ参じ、旧交を、暖め合っています。さらに、西武、林広、小野威、上田晃、三宅勝、小野斉、清水祥夫、鈴木直義の恩師が来訪の折には、数名で歓待、酒を酌み交わしました。とにかく、私は半世紀に亘り、会員の支えにより、会長として、誰しもが得ることができない、素晴らしい“たからもの”を授かったと信じて止みません。現在、50周年記念式典の準備中ですが、当支部も高齢化の波で、出席者の減少には勝てず、苦慮しています。今回は、本部のお力をお借りして、奥田学長と砂川同窓会長ほか2名のご臨席を賜り、少数精鋭ながら、新たな歴史を作り上げるべく、鋭意努力を、重ねて参ります。

## 会員の声

### 北海道の家畜保健衛生所 からの御報告

北海道農政生産振興局畜産振興課  
平松 美裕子  
(平成15年3月 畜産学部獣医学科卒)



昨今、公務員獣医師の不足、公務員のブラック化などの報道が過熱し、諸先輩方にいらぬ心配をかけてしまうことばかりで申し訳なく、取り急ぎ状況の御報告として、活躍する同窓生を差し置き、恥ずかしながらも寄稿させていただきました。

家畜保健衛生所職員、皆様の前に姿を見せる際には専ら不吉な白装束などとなっておりますが、あのような格好をさせられないためにも、まずは家畜が元気に育ていただくことが第一。日常の業務としては、伝染性疾患の検査、農場における衛生管理の指導等を進めているところです。採材、衛生管理の点検や指導などの農場での業務、家畜保健衛生所に戻っての検査室での業務、デスクで努めるお役所仕事など、業務は大きく3等分といったところでしょうか。現在、36名の卒業生一同、日々元気に勤めさせていただいております。

す。農場で家畜を追い回す、農場の御婦人と優雅に談義、検査室に籠りパイキンの世話など、各人の好みのところ深く掘り下げることができることはこの職場のよいところではないかと感じております。

正直に申しますと、公務員獣医師の不足については隠し切れないところ。北海道の家畜保健衛生所では定員189名のところ、欠員30余名で何とか業務を進めおります。手をこまねているわけにもいきません。各大学で開催される就職説明会には毎年卒業生を派遣しており、帯広畜産大学におきましてはここ3年、私が出席させていただきました。また、研修生（ちょっと体験してみたいという方も含めて）についても、常時、受入を行っております。大学生や卒業生とともに実際の業務を行うことは、当方としても新鮮な気持ちで楽しく感じる場所です。

最後に、北海道では、採用試験を毎月実施、年度途中の採用等、門戸を広げて仲間を探しております。皆様、又はお知り合いの中、興味をお持ちの方があればぜひ御一考をいただければありがたいと思います。

北海道の家畜保健衛生所の業務の紹介等はこちら  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/tss/kaho/top.htm>  
北海道の家畜保健衛生所をはじめとした獣医師採用試験についてはこちら  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/hsi/jyuishi.htm>

## Topics

### 川端喬名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました

平成30年春の叙勲の受章者として、本学名誉教授川端喬氏が瑞宝中綬章を受章されました。川端先生は教育研究功労者として、英文学の分野において、英語授業改善の目的で英語教材を分析するためのパソコン用プログラムを作成、テキストの使用語彙を辞書順、頻度順、逆順の文字列のソートを可能にし、テキストのリーダビリティの見地から文体論の研究のためにさらに改良を加え、Geoffrey Chaucerの「カンタベリ物語」の文体論の研究に繋がられました。

また、帯広畜産大学附属図書館長として、ホームページの開設やシラバスコーナーの設置を行い、図書館における学生教育支援の役割を重視する取り組みや情報処理センターとの協力により、インターネット利用による情報検索など図書館の環境改善に努められました。

栄えある叙勲を受けられましたことをお祝い申し上げます。



### 原虫病研究センターの五十嵐郁男教授が 「第65回桂田賞」を受賞

3月17日、18日に国立国際医療研究センターで開催された第87回日本寄生虫学会大会において、原虫病研究センターの五十嵐郁男教授が、第65回桂田賞を受賞しました。日本寄生虫学会は、寄生虫および寄生虫病に関する学術の研究、進歩と普及をはかることを目的としており、桂田賞は、寄生虫学振興に寄与した集大成された研究業績に

対して、(財)日本寄生虫予防会が顕彰する伝統ある著名な賞(昭和23年～)です。五十嵐教授の受賞対象業績は「ピロプラズマ症の診断および治療法の開発に関する研究」であり、世界的に家畜生産に甚大な被害を与えているピロプラズマ症の監視と制御に多大な貢献をしたことが高く評価されました。



受賞した五十嵐教授と太田伸生  
桂田賞顕彰委員長(左から)

## 生命・食料科学研究部門の萩谷功一准教授が「日本畜産学会賞」を受賞

3月27日から30日まで東京大学で開催された日本畜産学会第124回大会において、生命・食料科学研究部門の萩谷功一准教授が「日本畜産学会賞」を受賞しました。

日本畜産学会(寺田文典理事長)は、大正13年(1924年)に創立された歴史ある学会で、「畜産及び社会と動物のかかわりに関する学術研究の発表、情報交換の場としてその進歩普及を図り、もって学術および文化の発展に寄与することを目的」として運営され、古くから発行している「日本畜産学会報」に加え、2002年から発行している英文誌「Animal Science Journal」が国際誌として高く評価されています。会員数は1,500名以上であり、その所属は大学、国立試験研究機関および民間企業など、多分野にわたっています。

萩谷准教授の受賞研究課題は「国内乳用牛の遺伝評価を向上させるための研究」であり、一連の研究は、特に乳用牛の長命性や繁殖能力の改良情報の充実に向けて取り組むなど、日本国内における乳用牛改良に寄与する研究が評価されたものです。



受賞した萩谷准教授(左)

## 「ちくだいホームカミングデー2017」を開催



講堂前での集合写真

10月7日(土)に、講堂などにおいて、卒業生、修了生及び教職員OB・OGの皆様、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために、初めてとなる「ちくだいホームカミングデー2017」を開催し、全国各地から約130名(教職員含む)の参加がありました。

講堂で開催された開会式では、奥田学長より「各地の同窓会に出席した際に、同窓生の皆様から、最新の大学が見たいとの声が多くあり、初めてホームカミングデーを開催することにしました。今後もより良い形で継続して参ります。」と挨拶があった後、砂川同窓会長のご挨拶に続き、柳川理事から大学の概要について説明がありました。

開会式の後には、産業動物臨床棟見学コース、動物医療センター見学コース、総合研究棟I号館周辺見学コース、バスによる構内見学コース、寮(学生寄宿舎)見学コースの5コースに分かれ、担当の教員、職員、学生が学内を案内しました。参加者からは、「50年前との違いを痛感できた。」「改廃が進んだ畜大の歴史がバス見学でも知り得て良かった。」などの感想が寄せられ、大学の最新施設などをご観いただく良い機会となりました。

学内見学の後は、帯広畜産大学ならではのメニューを用意した懇親会を開催しました。畜大牛乳での乾杯の後、卒業年の近い同窓生でテーブルを囲み、在学中の話や、近況報告など、旧友や恩師との楽しい会話が弾んでいまし

た。途中には、大先輩からのご挨拶にも耳を傾け、そのお元気な姿と楽しいお話に、大きな拍手と笑いに包まれました。

最後に、恒例の全員で円陣を組み、「逍遙歌」（大学の愛唱歌）を合唱し、井上理事の閉会挨拶をもって、盛会のうちに終了しました。

当日は、「大学祭」や「馬フォーラム」のイベントも同時開催され、秋の紅葉が綺麗なキャンパスは、小雨模様にも関わらず、大勢の来場者で賑わいました。



大講義室見学の様子



大盛況の懇親会



逍遙歌の大合唱

## 「ちくだいホームカミングデー2018」を開催



講堂前での集合写真

10月6日(土)に、卒業生、修了生及び教職員OB・OGの皆様、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくことを目的に「ちくだいホームカミングデー2018」を開催し、全国各地から150名（教職員含む）を超える参加者がありました。

講堂で開催した開会式では、奥田学長から「母校で過ごされた思い出に浸り、母校の発展を見ていただき、大いに語らい、時間の許す限りお楽しみください。」と挨拶がありました。砂川同窓会長のご挨拶に続き、大学基金感謝状贈呈式を行い、柳川理事からは本学の近況についての説明を行いました。

次に、各界で活躍されている卒業生の方による講演会を開催しました。今年は、内外施設工業株式会社の林克昌取締役社長に「卒業から四半世紀を経て今思うこと」と題して、学生時代のこと、卒業後の米国への留学や就職のこと、帯広畜産大学に期待することなどについて講演していただき、「一緒に畜大を応援していきましょう。」との呼びかけがありました。

午後は、創立時からの写真をまとめたアーカイブ動画の投影、キャンパス見学会（産業動物臨床棟見学コース、動物医療センター見学コース、総合研究棟Ⅰ号館周辺見学コース、バスによる構内見学コース、寮（学生寄宿舎）見学コース）を行った後、懇親会を開催しました。天候が不安定だったため、屋内での開催となりましたが、本学らしいメニューの提供のほか、学生が研究しているソシソン（発酵ドライソーセージ）の紹介を行うなど、現役学生との交流でも大いに盛り上がりました。

最後は参加者全員で円陣を組み、井上理事の前口上で「逍遙歌」（大学の愛唱歌）を大合唱し、盛会のうちに終了しました。



産業動物臨床棟見学の様子



大盛況の懇親会



逍遙歌の大合唱

## 平成28年度 事業報告

平成28年10月15日 役員会・代議員会 開催  
 10月中旬 第3年次編入畜産科学課程合格者、  
 学士編入学2年次獣医学課程合格  
 者へ同窓会費納入願いを発送  
 10月22日 釧路支部同窓会参加（奥田学長、  
 砂川会長、佐藤総務課長補佐、岸  
 本事務局長出席）  
 10月29日 福島県支部同窓会参加（奥田学長、  
 砂川会長、辻副会長出席）  
 11月5日 新潟支部同窓会参加（奥田学長、  
 野並室長、岸本事務局長出席）  
 11月19日 岡山県支部同窓会参加（奥田学長、  
 野並室長、辻副会長出席）  
 11月26日 九州支部同窓会参加（奥田学長、  
 藤倉庶務担当役員出席）  
 11月中旬 第23号 同窓会報の発行  
 12月3日 役員会開催  
 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合  
 格者、帰国生特別選抜合格者へ同  
 窓会費納入願いを発送

平成29年2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選  
 抜合格者へ同窓会費納入願いを発  
 送

2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格  
 者、大学院修士課程・博士前期課  
 程国際協力特別選抜合格者へ同窓  
 会費納入願いを発送  
 2月24日 石川県支部同窓会参加（井上理事、  
 五十嵐副会長出席）  
 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、  
 一般選抜前期日程合格者、別科一  
 般選抜合格者へ同窓会費納入願  
 いを発送  
 3月中旬 卒業および修了予定者に帰省先住  
 所記入書を配布  
 3月17日 学位記並びに修了証書授与式会長  
 祝辞  
 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会  
 費納入願いを発送  
 5月中旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念  
 品贈呈  
 6月17日 関東支部同窓会参加（奥田学長、  
 野並室長、砂川会長出席）  
 7月22日 釧路支部同窓会参加（奥田学長、  
 五十嵐副会長、西田係員出席）  
 8月5日 役員会・代議員会開催  
 8月中旬 第24号 同窓会報の発行  
 9月上旬 大学院修士課程（平成29年10月入  
 学）一般選抜・社会人特別選抜合  
 格者へ同窓会費納入願いを発送

## 平成29年度 事業計画(案)

平成29年10月7日 役員会・代議員会・総会開催、ホ  
 ームカミングデー共催  
 10月中旬 第3年次編入畜産科学課程合格者、  
 学士編入学2年次獣医学課程合格  
 者へ同窓会費納入願いを発送  
 10月28日 兵庫県支部同窓会参加  
 11月11日 上川支部同窓会参加  
 11月18日 オホーツク支部同窓会参加  
 11月18日 中国地区同窓会参加  
 12月上旬 役員会開催  
 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合  
 格者、帰国生特別選抜合格者へ同  
 窓会費納入願いを発送

平成30年2月初旬 大学院博士前期・後期課程一般選  
 抜合格者、大学院博士前期課程国  
 際協力特別選抜合格者へ同窓会費  
 納入願いを発送  
 2月上旬 愛媛県支部同窓会参加

3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、  
 一般選抜前期日程合格者、別科一  
 般選抜合格者へ同窓会費納入願  
 いを発送  
 3月20日 学位記並びに修了証書授与式会長  
 祝辞  
 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会  
 費納入願いを発送  
 5月中旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念  
 品贈呈  
 8月上旬 役員会・代議員会開催  
 9月上旬 大学院博士前期・後期課程一般選  
 抜・社会人特別選抜・外国人留学  
 生特別選抜合格者、大学院博士前  
 期課程（平成29年10月入学）一般  
 選抜・社会人特別選抜合格者へ同  
 窓会費納入願いを発送

## 平成29年度 事業報告

- 平成29年10月7日 役員会・代議員会・総会 開催（総会45人）  
第1回ホームカミングデー共催（参加登録者132人 学外87人 学内45人）
- 10月中旬 第3年次編入畜産科学課程合格者、学士編入学2年次獣医学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 10月28日 兵庫県支部同窓会参加（柳川理事，岸本事務局長出席，神戸市）
- 11月11日 上川支部同窓会参加（井上理事，砂川会長出席，旭川市）
- 11月18日 オホーツク支部同窓会参加（井上理事，砂川会長出席，北見市）
- 11月18日 中国地区同窓会参加（奥田学長，岸本事務局長出席，米子市）
- 12月中旬 大学院博士前期課程・博士後期課程合格者，学部推薦入学合格者，別科推薦入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 12月25日 大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送

- 平成30年1月6日 役員会開催
- 2月4日 愛媛県支部同窓会参加（奥田学長，砂川会長出席，松山市）
- 2月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 3月20日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
- 3月20日 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送
- 5月中旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
- 6月9日 関東支部同窓会参加（奥田学長，野並室長，砂川会長，岸本事務局長出席，東京都）
- 8月28日 大学院博士前期・後期課程一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送（平成30年10月，平成31年4月入学）
- 9月29日 福島県支部同窓会参加（奥田学長，辻副会長出席，福島市）

## 平成30年度 事業計画（案）

- 平成30年10月6日 第2回ホームカミングデー共催（参加登録者153人 学外95人 学内58人）
- 10月7日 役員会・代議員会 開催
- 10月11日 第3年次編入畜産科学課程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 10月28日 九州・沖縄支部同窓会参加（奥田学長，野並室長，砂川会長，岸本事務局長出席予定，福岡市）
- 11月10日 兵庫県支部同窓会参加（奥田学長，岸本事務局長出席予定，神戸市）
- 12月初旬 役員会開催
- 12月中旬 学部推薦入学合格者，社会人特別入試合格者，別科推薦入学合格者，帰国生特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 12月下旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜合格者，大学院博士課程獣医学専攻合格者へ同窓会費納入願いを発送予定

- 平成31年1月下旬 役員会開催
- 2月初旬 大学院博士前期課程国際協力特別選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者，一般選抜前期日程合格者，別科一般選抜合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 3月20日 学位記並びに修了証書授与式会長祝辞
- 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ同窓会費納入願いを発送予定
- 5月中旬 入学者で同窓会費納入済者へ記念品贈呈
- 6月8日 関東支部同窓会参加（出席者未定，東京都）
- 8月上旬 役員会・代議員会開催
- 9月上旬 大学院博士前期・後期課程一般選抜・大学院博士課程獣医学専攻・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜合格者（平成31年10月，平成32年4月入学）へ同窓会費納入願いを発送予定

# 帯広畜産大学同窓会平成28年度通常会計決算報告

(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

収入の部					単位：円
項目	H28年度予算	H28年度決算	増減	備考	
前年度繰越金	6,064,111	6,064,111	0	前年度繰越金	
名簿販売	0	15,000	15,000	名簿3,000×5冊	
終身会費	4,000,000	4,040,000	40,000	20,000×202(終身会費)	
雑収入	5,889	124,002	118,113	利息(郵貯、JA、信金)、寄付金	
合計	10,070,000	10,243,113	173,113		

支出の部					単位：円
項目	H28年度予算	H28年度決算	増減	備考	
印刷代	2,000,000	1,960,199	△ 39,801	同窓会報印刷等	
通信・郵送料	2,000,000	1,411,512	△ 588,488	通信・郵送料、料金受取払い	
人件費	800,000	602,800	△ 197,200	謝金、施設管理費、アルバイト	
事務費	100,000	992	△ 99,008	HP更新委託、文房具	
会議費	5,000	45,000	40,000	役員会、代議員会経費	
交通費	600,000	77,000	△ 523,000	役員旅費	
役員手当	150,000	168,000	18,000	役員日当	
記念品代	150,000	0	△ 150,000	表彰状楯	
雑費	80,000	55,902	△ 24,098	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他	
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立	
予備費	3,185,000	0	△ 3,185,000		
合計	10,070,000	5,321,405	△ 4,748,595		

収入金額 10,243,113 円 ①  
 支出金額 5,321,405 円 ②  
 次年度繰越金額 4,921,708 円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成29年10月5日

監事

石塚 紘達 印  
 中家 敏博 印

# 帯広畜産大学同窓会平成28年度周年事業特別会計決算報告

(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

収入の部					単位：円
項目	H28年度予算	H28年度決算	増減	備考	
前年度繰越金	13,910,122	13,910,122	0		
懇親会費	200,000	0	△ 200,000		
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より	
雑収入	2,000	538	△ 1,462	定期預金利息	
合計	15,112,122	14,910,660	△ 201,462		

支出の部					単位：円
項目	H28年度予算	H28年度決算	増減	備考	
周年事業活動費	1,000,000	737,970	△ 262,030	懇親会補助、各支部総会への役員派遣	
周年事業基金	14,112,122	0	△ 14,112,122		
合計	15,112,122	737,970	△ 14,374,152		

収入金額 14,910,660 円 ③  
 支出金額 737,970 円 ④  
 次年度繰越金額 14,172,690 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成29年10月5日

監事

石塚 紘達 印  
 中家 敏博 印

帯広畜産大学同窓会平成29年度通常会計予算（案）

（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

収入の部				単位：円
項 目	H29年度予算	H28年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	4,921,708	6,064,111	△ 1,142,403	
名簿販売	0	15,000	△ 15,000	
終身会費	4,000,000	4,040,000	△ 40,000	20,000×200人
雑収入	108,292	124,002	△ 15,710	利息、寄付金
合 計	9,030,000	10,243,113	△ 1,213,113	

支出の部				単位：円
項 目	H29年度予算	H28年度決算	増 減	備 考
印刷代	1,500,000	1,960,199	△ 460,199	同窓会報印刷等
通信・郵送料	1,500,000	1,411,512	88,488	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	800,000	602,800	197,200	謝金、施設管理費、アルバイト
事務費	50,000	992	49,008	事務用品
会議費	50,000	45,000	5,000	役員会、代議員会等経費
交通費	600,000	77,000	523,000	役員旅費
役員手当	200,000	168,000	32,000	役員日当
記念品代	50,000	0	50,000	感謝状桶等
雑費	100,000	55,902	44,098	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立
予備費	3,180,000	0	3,180,000	
合 計	9,030,000	5,321,405	3,708,595	

帯広畜産大学同窓会平成29年度周年事業特別会計予算(案)

（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

収入の部				単位：円
項 目	H29年度予算	H28年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	14,172,690	13,910,122	262,568	
懇親会費	0	0	0	ホームカミングデーへ移行
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より
雑収入	310	538	△ 228	利息ほか
合 計	15,173,000	14,910,660	262,340	

支出の部				単位：円
項 目	H29年度予算	H28年度決算	増 減	備 考
周年事業活動費	1,250,000	737,970	512,030	各支部総会への役員派遣、ホームカミングデー協賛金など
周年事業基金	13,923,000	0	13,923,000	80周年記念事業に向けて
合 計	15,173,000	737,970	14,435,030	

# 帯広畜産大学同窓会平成29年度通常会計決算報告

(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

収入の部					単位：円
項目	H29年度予算	H29年度決算	増減	備考	
前年度繰越金	4,921,708	4,921,708	0	前年度繰越金	
名簿販売	0	21,000	21,000	名簿：3,000×7冊	
終身会費	4,000,000	3,940,000	△ 60,000	20,000×197(終身会費)	
雑収入	108,292	55,002	△ 53,290	利息(郵貯、JA、信金)、寄付金、基金賛助会費	
合計	9,030,000	8,937,710	△ 92,290		

支出の部					単位：円
項目	H29年度予算	H29年度決算	増減	備考	
印刷代	1,500,000	0	△ 1,500,000	同窓会報印刷	
通信・郵送料	1,500,000	63,559	△ 1,436,441	通信・郵送料、料金受取払い	
人件費	800,000	774,800	△ 25,200	謝金、施設管理費、アルバイト	
事務費	50,000	312,874	262,874	パソコン、名簿データベースシステム、文房具	
会議費	50,000	0	△ 50,000	役員会、代議員会経費	
交通費	600,000	286,979	△ 313,021	役員旅費	
役員手当	200,000	102,000	△ 98,000	役員日当	
記念品代	50,000	0	△ 50,000	表彰状楯	
雑費	100,000	71,420	△ 28,580	郵便振込料金、終身会費返金、慶弔費他	
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立	
予備費	3,180,000	0	△ 3,180,000		
合計	9,030,000	2,611,632	△ 6,418,368		

収入金額 8,937,710 円 ①  
 支出金額 2,611,632 円 ②  
 次年度繰越金額 6,326,078 円 ①-②

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成30年10月3日

監事

中家敏博  
 石塚結達

# 帯広畜産大学同窓会平成29年度周年事業特別会計決算報告

(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

収入の部					単位：円
項目	H29年度予算	H29年度決算	増減	備考	
前年度繰越金	14,172,690	14,172,690	0		
懇親会費	0	0	0	ホームカミングデーに移行	
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より	
雑収入	310	538	228	定期預金利息	
合計	15,173,000	15,173,228	228		

支出の部					単位：円
項目	H29年度予算	H29年度決算	増減	備考	
周年事業活動費	1,250,000	782,530	△ 467,470	ホームカミングデー協賛経費、各支部総会への役員派遣	
周年事業基金	13,923,000	0	△ 13,923,000		
合計	15,173,000	782,530	△ 14,390,470		

収入金額 15,173,228 円 ③  
 支出金額 782,530 円 ④  
 次年度繰越金額 14,390,698 円 ③-④

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成30年10月3日

監事

中家敏博  
 石塚結達

帯広畜産大学同窓会平成30年度通常会計予算（案）

（平成30年10月1日～平成31年9月30日）

収入の部					単位：円
項 目	H30年度予算	H29年度決算	増 減	備 考	
前年度繰越金	6,326,078	4,921,708	1,404,370		
名簿販売	0	21,000	△ 21,000		
終身会費	4,000,000	3,940,000	60,000	20,000×200人	
雑収入	63,922	55,002	8,920	利息、寄付金	
合 計	10,390,000	8,937,710	1,452,290		

支出の部					単位：円
項 目	H30年度予算	H29年度決算	増 減	備 考	
印刷代	2,000,000	0	2,000,000	同窓会報印刷等	
通信、郵送料	2,000,000	63,559	1,936,441	通信・郵送料、料金受取払い	
人件費	800,000	774,800	25,200	謝金、施設管理費、アルバイト	
事務費	50,000	312,874	△ 262,874	事務用品	
会議費	50,000	0	50,000	役員会、代議員会等経費	
交通費	600,000	286,979	313,021	役員旅費	
役員手当	200,000	102,000	98,000	役員日当	
記念品代	50,000	0	50,000	感謝状楯等	
雑費	100,000	71,420	28,580	郵便振込料金、終身会費二重払い返金、慶弔費他	
周年事業費積立金	1,000,000	1,000,000	0	次回周年事業に向けた積立	
予備費	3,540,000	0	3,540,000		
合 計	10,390,000	2,611,632	7,778,368		

帯広畜産大学同窓会平成30年度周年事業特別会計予算(案)

（平成30年10月1日～平成31年9月30日）

収入の部					単位：円
項 目	H30年度予算	H29年度決算	増 減	備 考	
前年度繰越金	14,390,698	14,172,690	218,008		
周年事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	通常会計より	
雑収入	302	538	△ 236	利息ほか	
合 計	15,391,000	15,173,228	217,772		

支出の部					単位：円
項 目	H30年度予算	H29年度決算	増 減	備 考	
周年事業活動費	1,300,000	782,530	517,470	各支部総会への役員派遣、ホームカミングデー協賛金など	
周年事業基金	14,091,000	0	14,091,000	80周年記念事業に向けて	
合 計	15,391,000	782,530	14,608,470		

## 訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。[敬称略]

水 馬 博 (S35年 獣医畜産)	西 田 美恵子 (S62年 家畜生産)	池 盛 重 (S24年 農専農学)
若 林 敏 郎 (S37年 総合農学)	伊 織 正 一 (S32年 獣医)	宮 入 篤 (S50年 農業工学)
平 馬 時 夫 (S23年 農専獣医)	中 村 郁 夫 (S33年 獣医)	市 毛 宏 人 (H11年 畜産環境)
磯 尾 敏 之 (S41年 農産化学)	山 本 志 郎 (S34年 獣医)	

\*2017年11月から2018年6月までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

## 特 別 講 演 の ご 案 内

同窓生の菅野典雄氏（昭和45年草地学科卒）が村長を務める福島県飯館村は、2011年3月の東電事故による全村避難から7年の歳月を経た今、平成29年4月に避難指示解除（村内一部を除く）となり、1年半を過ぎたところです。その村長による講義が毎年、帯広畜産大学で1年生を対象に行われています。本年度も、全1年対象のキャリア教育の講義として行われる運びとなりました。そこで、本同窓会の名誉会長でもある奥田学長（昭和52年獣医科卒）にも協力いただき、この機会に同窓生もこの講義を拝聴できるよう計画いたしました。お近くの同窓生におかれましては、平日の午後ではありますが、拝聴いただければ幸いです。

なお、一般の来学者にも門戸を開いておりますので、ご近所の方もお誘いの上、拝聴していただければ幸いです。

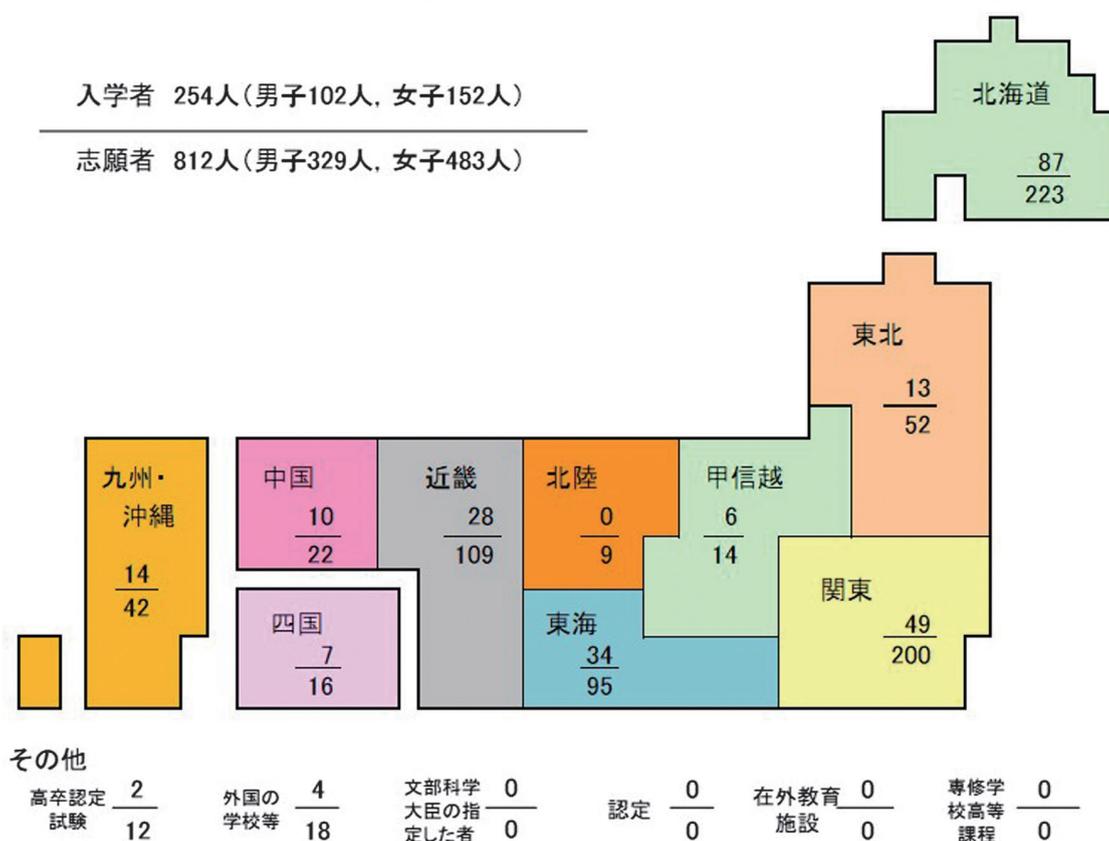
— 記 —

日 時：平成31年1月11日 金曜日  
 3 講目 14：45～16：15  
 場 所：帯広畜産大学 講堂  
 講演タイトル：仮「までの村に陽はまた昇る」  
 講演者：菅野典雄飯館村村長（昭和45年草地学科卒）  
 問合せ先 同窓会副会長 辻 修  
 TEL 0155-49-5510 mail: tsuji@obihiro.ac.jp

## ◆ 平成30年度学部地域別志願者・入学者状況

入学者 254人(男子102人, 女子152人)

志願者 812人(男子329人, 女子483人)



## 事務局だより

### 逍遙舎の使用について

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学総務課にお申し込みください。

問い合わせ先 総務課総務係 49-5216

(平日 8:30-17:15)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/alumnus/syouyousya.html>

### 同窓会事務について

同窓会事務局は、事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しております。なお、電話、FAX等は、これまでと同様ですので、お問合せは下記をお願いします。

同窓会事務局 (平日8:30-18:00)

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学内

Tel 0155-49-5996 FAX 0155-49-5996

E-mail [dousou@obihiro.ac.jp](mailto:dousou@obihiro.ac.jp)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

### 本学同窓会の終身会費の徴収方法について

現役学生の保護者の皆様へ

これまで帯広畜産大学同窓会では、会費の徴収方法として、入学時に入学者の皆様から同窓会への協賛金としていただき、卒業の時点で同窓会会員となった時にその会費を終身会費に変更させていただいております。しかし、その煩雑性と他の大学の状況を見たとき、現役学生も入学した時点において準会員の資格を与え、その結果として、入学時に終身会費をいただくことといたしました。なお、特別な事情で、途中で大学を去る場合においては、本人からの申し出において、終身会費を返納することは、従来と変わっておりません。また、本年度からは、入学時に同窓会に住所開示の許可をいただいた保護者の皆様には、同窓会報の発送も行い、本学同窓会の活動をご覧になっていただくことにいたしました。このような事情で、本年度より、現役学生の保護者様にも同窓会会報を発送いたしましたので、お気づきの点がありましたら、事務局までご一報ください。

また、本学の卒業生は、全国に散らばっており、現役の学生諸子の就職時にも、色々な分野の諸先輩の方々のお力も拝借できる体制となっています。その旨、ご子弟にお知らせいただき、同窓会事務局の先生方に連絡いただければ、全国の各支部に問合せを行うことも可能ですので、そのような観点からも同窓会を活用していただければ幸いです。

## 協賛広告のご案内

来期の同窓会報より協賛広告を掲載いたします。来期は2019年8月頃に発行する予定です。自分の会社をお持ちの方！会社のトップの方！その他の方！協賛広告受付は2019年6月30日(日)が締切日です。多数の申込を、お待ちしております。

大きさと掲載料は下記の通りです。

1 枠：タテ40mm×ヨコ180mm

10万円 (本校卒業生は5万円)

1 / 2 枠：タテ40mm×ヨコ85mm

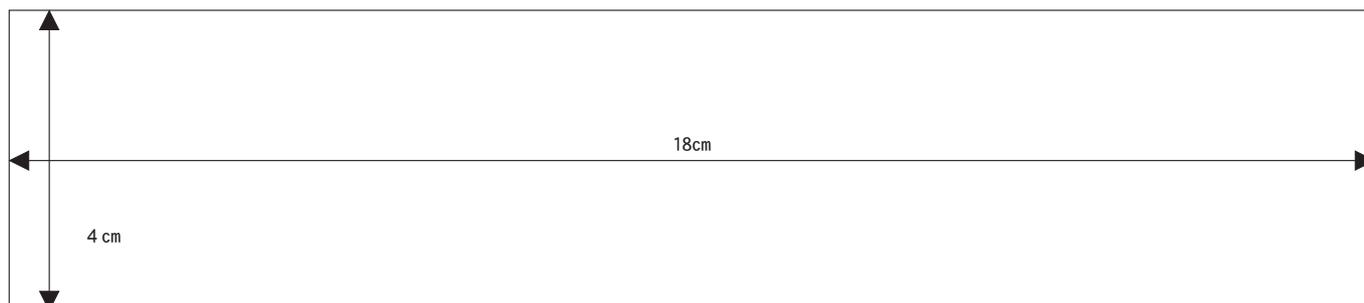
6万円 (本校卒業生は3万円)

なお原則として、申込み1件につき、会報10部を贈呈致しております。広告料金のお支払いは、名簿と共に郵便振替用紙を送付させていただきますので、後日振り込みをお願い致します。

申込先：080-8555 帯広市稲田町 帯広畜産大学  
岸本 正

電話：0155-49-5522 FAX：0155-49-5522

E-mail：[tksmnt@obihiro.ac.jp](mailto:tksmnt@obihiro.ac.jp)



# 帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定  
平成5年10月16日改訂  
平成7年10月14日改訂  
平成9年10月18日改訂  
平成11年10月23日改訂  
平成13年10月6日改訂  
平成19年10月13日改訂  
平成25年10月5日改訂

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。  
第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。  
第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。  
1. 同窓会報の発行  
2. 同窓会名簿の管理  
3. 帯広畜産大学の後援  
4. その他本会の目的を達成するための必要な事業  
第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

## 第2章 会 員

- 第5条 本会は次の会員を持って組織する。  
1. 正会員  
1) 帯広畜産大学及びその前身の卒業生  
2) 帯広畜産大学畜産学専攻科、大学院畜産学研究科、及び別科修了生  
3) 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したもの  
4) その他代議員会で認めたもの  
2. 準会員  
帯広畜産大学、大学院畜産学研究科、草地専修科、岐阜大学大学院連合獣医学研究科および岩手大学大学院連合農学研究科の学生  
3. 特別会員  
帯広畜産大学およびその前身の同窓生以外の教員  
第6条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。  
第7条 会員の除名および資格の喪失  
1. 本会の名誉を傷つけたり、本会の目的に反した行為を行った会員は、代議員会の決議により、除名とする。  
2. 当該会員が死亡したときは、その資格を喪失する。

## 第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。  
第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局長1名、庶務担当3名、会計担当3名、名簿担当3名および監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。  
第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員および代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。  
第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を

補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

- 第12条 事務局長は庶務担当役員と共に会務を担当する。  
第13条 会計担当役員は会費を徴収し、本会の資産の管理と予算の適切な執行を担当する。  
第14条 名簿担当役員は同窓会名簿の管理を担当する。本役員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。  
第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。  
第16条 役員会は会長が召集しその議長となる。本会は構成役員の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。  
第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。  
第18条 代議員会は会長が召集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。  
第19条 代議員会は次の事項を審議する。  
1. 予算及び決算  
2. 会費の変更  
3. 重要な資産の処分  
4. その他の重要な事項

## 第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、または10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときこれを開くこととする。  
第21条 総会は会長が召集し、その議長は会員中より総会で選出する。  
第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。  
1. 会則の変更  
2. 役員人事  
3. 資産目録  
第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。  
第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

## 第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。  
第26条 会員は終身会費として入学時に20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。なお、準会員については、何らかの事情で中途退学した場合、本人からの請求があれば返金するものとする。  
第27条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

## 第6章 支 部

- 第28条 本会はその目的を達成するために、必要があるときは支部を設けることができる。  
第29条 支部を設置しようとする者は、その代表者から支部会則、役員等の資料を添えて本会に届け出なければならない。なお、支部活動については、支部会にゆだねるものとする。

付 則 この会則は平成25年10月5日から施行する。